

有機農業その未来 ～食と命を守る～

◆講師・コメンテーター◆



東京大学大学院
農学生命科学研究科 特任教授
鈴木 宣弘 先生
すずき のぶひろ

グローバリズムの限界が露呈し、海外からの輸入が滞るリスクも高まっている今、「地域の種からつくる循環型食料自給圏」構築の重要性が増している。世界一過保護と誤解され、本当は世界一保護なしで踏ん張ってきた日本の農家はその頑張りでも今でも世界 10 位の農業生産額を達成している、まさに「精鋭」、日本を守る砦だ。消費者も生産者も一緒に作って一緒に食べる一体的ネットワークで地域の子供たちの未来を守ろう。オーガニックビレッジ宣言をしたここ亀岡で有機農業について一緒に考えましょう。

【講師略歴】

1958 年三重県生まれ。東京大学農学部卒業後、農林水産省入省。九州大学大学院教授を経て、2006 年 9 月から東京大学大学院農学生命科学研究科教授。2024 年 4 月から同特任教授。農学博士。食料安全保障推進財団理事長を兼務。

日時 **2025**

4 / 6 日

13:00 ~ 15:00

(開場 12:50)

パネルディスカッション

「亀岡における有機農業とその未来」

会場

大本本部 みろく会館 3階
(亀岡市荒塚町内丸 1)

◆パネリスト◆



一般社団法人 愛善みずほ会会長
「愛善酵素農法について」
島本 光久 先生



日本農業株式会社 代表取締役
一般社団法人日本農業 代表理事
「有機酒米栽培について」
大西 千晶 先生



亀岡オーガニックアクション理事
「有機米での学校給食」
大江 広一郎 先生

入場無料・申込不要
どなたでもご参加できます

◆ファシリテーター◆



出口王仁三郎翁顕彰会事務局長
有機米栽培者
山田 歌 先生